

令和7年度 清瀬小学校 学校図書館経営方針

清瀬市立清瀬小学校図書館長
谷口 雄磨

1 学校の教育目標

元気な子 考える子 協力する子 仲良くする子

2 めざす学校図書館像

- ・本に出会う喜び、知る楽しさ、感動がある学校図書館
- ・疑問や課題を解決に導くための助けとなる学校図書館
- ・生涯にわたる学びを支え、本を通じた交流を育む学校図書館
- ・地域に開かれ、市民の憩いの場となる学校図書館

3 学校図書館経営の基本方針

- ① 図書を活用した調べ学習を推進し、情報ステーションとして機能させる。
- ② 読み聞かせの会などを通して読書への興味や親しみをわかせる。
- ③ 環境を整備し、居心地のよい空間をつくる。
- ④ 週休日にも定期的に地域に開放して読書の日常化を図るとともに、幼児への就学前教育推進の一助とする。

4 特色ある取組の推進

- ・年間の学校図書館利用計画を読書活動推進委員会から示して授業等での積極的な活用を促すとともに、年間2回の読書月間を設け、各種読書カードを活用するなどして、年間を通して学校図書館を利活用する。
- ・季節や行事に合わせて「いのちの学習」の単元に合わせたりした図書コーナーを整備し、児童の興味・関心を引き出す。
- ・高学年の読書率向上を促進させるため、「調べる学習コンクール」を5年生の総合的な学習の時間の年間計画に位置付ける。
- ・読み聞かせの専門家を招聘したり図書ボランティア（保護者等）を活用したりして、定期的な読み聞かせ会を実施する。また保護者対象の読み聞かせ講座を開催する。
- ・幼児向けの絵本などの蔵書を充実させ、就学前の幼児やその保護者が利用しやすい学校図書館をつくる。

5 学校図書館運営

【重点1】

- ・年間を通した児童の図書貸出件数を倍増させるため、校務分掌に読書活動推進委員会を位置付け、取組や手だての検証・改善を計画的に行う。

【重点2】

- ・学校図書館を居心地の良い空間にするため、特設コーナーを含めた配架場所を見直したり、学習センターと読書センターを分けたりして空間の有効利用を目指す。

【重点3】

- ・月1回程度の地域開放日を設定することで、市民の利用しやすい学校図書館をつくる。

6 学校図書館部の構成

- ・管理職
- ・読書活動推進委員（各学年、ひばり学級、専科）
- ・図書支援員

7 年間活動計画

月	主な取組	取組例
4月	○図書館開館に向けての準備 ○読書活動推進委員会による年間の学校図書館利用計画の作成 ○図書館オリエンテーション ○貸出数を増やす。	・図書館教育推進計画の立案・予算案の作成 ◇地域開放に向けた計画の立案 ◇近隣の幼稚園・保育園へ地域開放に関するポスター配布（年間を通して、地域開放日に向けて定期的にポスターを配布する。） ◇本校保護者に向けた地域開放に関するアナウンス ・学校図書館の環境整備 ・利用指導、個人カードの作成 ・図書委員会の指導(カウンター当番など) ・学校図書館を利用した学級文庫の貸し出し ・全学級に向けて学校図書館の利用の仕方やマナーについての指導、十進分類法や蔵書等の紹介 ・「いのちの学習」の単元に合わせて図書コーナーの整備 ・季節に関わる図書のコーナー設置
5月	○学習活動や授業に図書館が利用されるように働きかける。	・購入希望図書のアンケートをとり、購入する。(随時) ・図書の発注(随時) ・図書委員会作成のポスターなどによる蔵書の紹介 ・朝読書での読み聞かせ開始 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の紹介(5年) ・学習に関連した本のコーナーの設置
6月	○読書月間の実施 ○貸出数を増やす。 ○総合的な学習の時間など、授業での利用を増やす。	・図書委員会が中休みにビブリオバトルを行う。 ・図書委員会がおすすめ本を放送で紹介する。 ・図書ボランティアによるお昼の放送での読み聞かせ開始 ・読書月間に向けた図書館利用についての広報 ・「図書館を使った調べる学習コンクール」に向けた指導(5年) ・季節に関わる図書のコーナー設置
7月	○夏休みの読書に関する情報発信	・夏休みの読書参考おすすめ本コーナーの設置 ・清瀬の100冊読書感想文コンクールの紹介 ・読書感想文の指導 ・蔵書点検
8月		
9月	○総合的な学習の時間など、授業での利用を増やす。	・学校図書館を利用した学級文庫の充実 ・「いのちの学習」の単元に合わせて図書コーナーの整備
10月	○読書月間の実施 ○貸出数を増やす。	・読書月間に向けた図書館利用についての広報 ・図書委員会による新規購入本の紹介 ・季節に関わる図書のコーナー設置
11月	○図書委員会による読書推進企画	・学級でできるビブリオバトルの提案 ・学習に関連した本のコーナーの設置
12月	○冬休みの読書に関する情報発信	・季節に関わる図書のコーナー設置
1月	○総合的な学習の時間など、授業での利用を増やす。	・学校図書館を利用した学級文庫の充実 ・図書委員会による新規購入本の紹介
2月	○読書活動推進委員会による1年間のまとめと次年度の計画	・学習に関連した本のコーナーの設置
3月	○年間活動の反省と来年度の準備	・学級文庫の返却 ・蔵書整理

8 その他(年間読書目標冊数、ボランティア活動、推薦著書など)

- ・年間貸出目標 児童一人当たり70冊
- ・地域開放日の来館者数目標 1回当たり30名
- ・毎週金曜日9時から10時半 保護者から図書ボランティアを募り図書館の整備を行う。